



おだわら21世紀少年〜ギャングエイジの異世代交流

社会福祉法人 小田原市社会福祉協議会

小田原市社協では、平成二十一年度、小学生から大学生までの子どもたちを集めて、高齢者疑似体験や交流、野外生活体験などの内容を盛り込んだ異世代交流事業「おだわら21世紀少年」を行いました。これは、異年齢の子ども達や高齢者と交流をしながら、避難生活体験や町探検をし、最後には、子どもたちが考える防災計画「予言の書」をも作ってしまうという一大イベントです。

すみました」

秋山さんが担当になった時、真先に思い浮かんだのが、このギャングエイジでした。ギャングエイジとは、連帯感の強い集団の中の遊びを通じて、規則の守り方やお互いの協力の仕方あるいは自己欲求の統制の方法など、さまざまな学習をする児童期（小学生）のこと。言い換えれば、ある意味排他的な仲間関係を作る世代ですが、この、育ってきた環境が全く違うギャングエイジが、初めて顔を合わせる中でどうやって交流するのかが、秋山さんは気になっていました。けれども、そんな心配をよそに「君たちは本当

今薄れつつある世代間の学び合いや絆をつなげていきたい、そんな思いから実現したイベントですが、この企画は、元をたどれば担当した秋山浩樹さんの学生時代にさかのぼります。「大学で履修した心理学で『ギャングエイジ』というキーワードが印象に残った。そうしたらたまたま試験に出た。これに救われて単位を落とさずに

に初対面なの？」と聞きたくなるほどにぎやかで、すぐに仲良くנותっていたそうです。

薄れゆく人と人との関係の復活

この事業は、福祉教育活動の一環ですが、ねらいとしては「タテ集団による学びの場」を復活させることにありました。秋山さんは言います。「昔は地域にガキ大将がいた。ガキ大将は時として乱暴もするけれど、弱い者を守り皆を引っ張っていた。ここに参加してくれた子ども達がガキ大将となって、将来地域を支えるリーダーになつてくれれば…」今では地域にいななくなったガキ大将の復活、そしてガキ大将が将来地域を担うリーダーになる、そんな願いも込められていたのです。

さて、今年も、未来の小田原を担う子どもたちに向けて召集がかかります。指令は「特別指令」。今年はどうな子ども達が集まってくるのでしょうか。

(市町村社協支援担当)

プログラムの詳細は、小田原市社協ホームページでご覧いただけます。→<http://www.odawara-shakyo.or.jp/21c/b/21c-btop.html>



やんちゃな小学生。旗づくりではとても積極的だ

るのか、秋山さんは気になっていました。けれども、そんな心配をよそに「君たちは本当

消防用設備等点検時には**無償**で点検推進指導員を派遣し
防火管理者の立会を支援いたします。

防火管理者の皆様へ

液状化被害について (執筆) 神奈川県温泉地学研究所 杉原英和次長

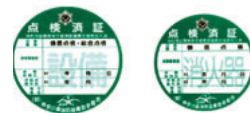
地震の揺れによって地面が液体のようになって建物等の支持力を奪ってしまうことがあります。地盤の液状化現象、噴砂現象と言われるものです。これは砂礫で構成された地盤が揺られることによって、地下水の圧力が上昇しそれまで一粒一粒が重なり合っていた砂礫の粒がバラバラになって、いわゆる泥水状態になって重い建物が沈下したり、軽いマンホールが浮いてしまったりする被害を生じます。



液状化現象によって浮き上がったマンホール (1998年釧路沖地震)

防火管理者は、消防用設備等の点検時に必ず立会って適正な点検が実施しているか確認しましょう。

消防設備の安心を保障します。



(財)神奈川県消防設備安全協会
TEL 045-201-1908